

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会
移民管理をめぐるEU外交
— 「新協定」締結に至るEU域内外交渉分析

2023年12月末、EUの「移民と難民についての新協定(New Pact on Migration and Asylum)」法案は、欧州委員会と閣僚理事会(Council)との間の政治的合意を得た。

EUはこれを3年越しの協議を経た「歴史的な快挙」と評価している。一方で、NGOなど人権擁護派からは「最悪の歴史」と評されるなど、批判が相次いでいる。さらに、ハンガリーが合意後に改めて否認を表明するなど、閣僚理事会の内部における意思決定の実効力も問われる事態になっている。

このようなヨーロッパ国際関係の動向を踏まえ、人道主義を掲げるEUがいかにして共通移民（難民）管理を実現しようとしているか、そして、その限界がどこにあるのかを、EUレベルにおける加盟国間交渉過程に焦点を当てて明らかにする。

2024年3月14日(木)

16：00～17：30

ZOOMによるオンライン研究会

■ **報告者 岡部 みどり 氏 上智大学 教授**

■ **司会 若松 邦弘 氏 東京外国語大学 教授**